

第3回 水緑花くるめ推進協議会

日 時 : 令和4年10月6日 10:30~11:35

場 所 : 久留米市企業局 合川庁舎 3階 第1会議室

委員出席者 : 9名 (内、代理出席者1名)

- 【会長】九州大学大学院芸術工学研究院 教授 博士(農学) 包清 博之
 久留米工業大学建築・設備工学科 教授 博士(芸術工学) 大森 洋子
 医療法人 楠病院 常務理事 吉永 美佐子
 九州農園 栗木 トシ子
 植栽ボランティア「花人さん」 岩永 マス子
 久留米市子ども・子育て会議 池田 彩
 国土交通省九州地方整備局建政部公園調整官 齊藤 和義
 福岡県建築都市部公園街路課長 中西 政人
 久留米市都市建設部次長 石井 浩

議 題 久留米市緑の基本計画2018の進捗状況

- 1 緑化重点事業の達成状況
- 2 中央公園官民魅力創出事業について

主な意見

議題1 緑化重点事業の達成状況 緑の基本計画の成果指標をもとに緑化重点事業の中間期の達成状況について報告
<ul style="list-style-type: none"> ・近年のコロナ禍で自宅に閉じこもりがちになっている高齢者等も参加できるような制度があると市民参加が増えるのではないか。 ・いろいろな角度から活動の場などの情報発信が必要である。 ・協働の事業では、大学生など意欲的な学生も巻き込んでいくような情報提供をおこなったらよいのではないか。
議題2 中央公園官民魅力創出事業について 中央公園のP-PFIの手法を取り入れたリニューアル事業について説明
<ul style="list-style-type: none"> ・久留米市で初めて官民連携による施設ができたことは良いことだが、今後の展開や他の公園に事業展開する上でもモニタリングが必要である。 ・今は施設がオープンしたばかりだが、これから長く運営してもらうために、必要な戦略を今から考えていく必要がある。 ・中央公園の施設は、たくさん子ども連れに利用されている。今後は、全国的に広がっている「プレイパーク」のような子どもが思いっきり遊べる公園づくりも検討してほしい。